

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年09月10日

計画の名称	加古川市における下水道の安全・安心の推進(3)(防災・安全)											
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	加古川市											
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	6,080	A	6,080	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	下水道による都市浸水対策の達成率を45.6%(R2)から50.0%(R6)に増加させる。 都市浸水対策を実施すべき区域のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対し安全である下水道整備が完了している区域の割合 (下水道による都市浸水対策達成率) 概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha) / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積(3,463.7ha)	45%	49%	50%
2	ポンプ場の耐震診断を実施し、必要に応じて耐震補強工事を行う。 ポンプ施設の耐震診断を実施している割合 耐震診断済のポンプ場数(箇所) / 耐震診断を実施すべきポンプ場数(4箇所)	0%	100%	100%
3	西脇雨水ポンプ場の長寿命化計画に基づく改築更新を令和2年度に完成させる。 ポンプ場の長寿命化計画が完了している場合 長寿命化計画が完了しているポンプ場数(箇所) / 長寿命化計画が完了すべきポンプ場数(1箇所)	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	加古川市	直接	-	管渠（雨水）	新設	別府川第5排水区雨水幹線（浸水対策）	U3.6m×1.6m～2.9m×1.4m L=380m、詳細設計	加古川市						640	-	
	A07-002	下水道	一般	加古川市	直接	-	管渠（雨水）	新設	別府川第9排水区雨水幹線（浸水対策）	2.5m×2.5m～2.1m×2.1m L=840m	加古川市						990	-	
	A07-003	下水道	一般	加古川市	直接	-	-	新設	別府川第14排水区調整池（浸水対策）	調整池整備	加古川市						367	-	
	A07-004	下水道	一般	加古川市	直接	-	-	改築	加古川市下水道ストックマネジメント計画	改築更新、計画策定	加古川市						2,649	-	
	A07-005	下水道	一般	加古川市	直接	-	ポンプ場	改築	ポンプ場（地震対策）	4箇所	加古川市						933	-	
	A07-006	下水道	一般	加古川市	直接	-	ポンプ場	改築	西脇雨水ポンプ場（長寿命化）	改築更新	加古川市						220	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	加古川市	直接	-	-	新設	効率的な下水道計画(雨水)策定(浸水対策)	調査・計画策定	加古川市						34	-	
	A07-008	下水道	一般	加古川市	間接	個人	-	新設	雨水貯留施設設置の助成	貯留施設 2 2 5 戸分	加古川市						7	-	
	A07-009	下水道	一般	加古川市	直接	-	ポンプ場	改築	ポンプ場(耐水化)	6箇所	加古川市						170	策定済	
			耐水化計画																
	A07-010	下水道	一般	加古川市	直接	-	管渠(雨水)	新設	内水浸水リスクマネジメント推進事業(浸水対策)	内水浸水想定区域図作成	加古川市							70	-
												小計						6,080	
											合計						6,080		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	411	450	558	242	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	10	
交付額 (c=a+b)	411	450	558	232	
前年度からの繰越額 (d)	85	206	169	374	
支払済額 (e)	290	487	353	538	
翌年度繰越額 (f)	206	169	374	68	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 加古川市における下水道の安全・安心の推進（３）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画(総合計画、生活排水処理計画、都市計画等)との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 下水道の諸計画(合流式下水道緊急改善計画等)との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 関連する諸計画(河川整備計画等)と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

水の安全・安心基盤整備

計画の名称	加古川市における下水道の安全・安心の推進（3）（防災・安全）
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）
交付対象	加古川市

